

暴力防止ユースプログラム

「チェンジ」とは

思春期の若者たちが、自分と相手を大切にし、尊重しあえる関係の作り方を学ぶためのプログラムです。デートDVの仕組みを学び、実際に起こりうるケースをロールプレイで体験、暴力の責任は加害者にあることを学ぶプログラムです。

さらに、インターネットや携帯電話、恋愛など、思春期に陥りやすい「依存」にも焦点をあて、若者たちが自分を大切にすることはどういうことか、自ら考え、学んでいくプログラム、言葉が持つ影響を知り、自分も相手も大切に表現方法を学ぶプログラムもあります。

性暴力やいじめなど、あらゆる暴力防止に資するプログラムも随時揃えています。

デートDV防止啓発DVD「これからの二人」 (Saya-Saya 監修)

都立竹台高校生が作成したオリジナルDVDです。高校生が企画・出演した「ショートドラマ」と実際にデートDV被害を体験した女子高生の「インタビュー」による2部構成です。



ライブラリー価格：10,000円

デートDV防止啓発リーフレット 「あなたの恋はどう？」

漫画で暴力的なコミュニケーションと非暴力的なコミュニケーションの対比がわかります。チェックリストつき。



1部：100円

<問合せ先>

NPO 法人 女性ネット Saya-Saya

TEL/FAX：03-6807-8442

メール：saya2.change1@gmail.com



デートDV、ハラスメント等 暴力防止ユースプログラム

チェンジ



自分と相手を大切にし、
尊重しあえる関係の作り方を
学ぶためのプログラム

NPO 法人女性ネット Saya-Saya

<http://saya-saya.net/>



暴力防止ユースプログラムの概要

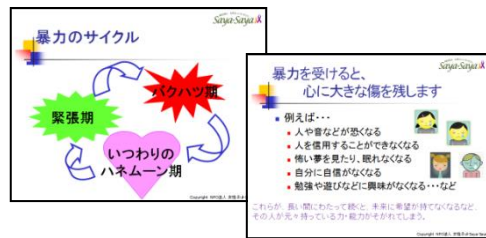
暴力防止ユースプログラム

「チェンジ」は、3種類あります。

- ① デートDV
- ② ケータイなどへの依存
- ③ 言葉の持つ影響

① デートDV

高校生へのアンケート結果を見ると、「DVはなんとなく知ってたけど、デートDVがあるなんて初めて知った」という声がよく聞かれます。デートDVのプログラムは、DVDやロールプレイなどを通して、デートDVの基本を学んでいきます。

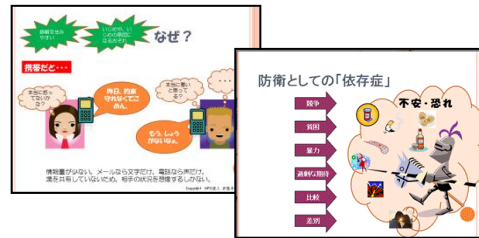


付き合う相手ができるとき、尊重した関係を築いていきたいと思った。

友達や周りにDVがあったら、見ないふりせず、相談されたら話を聞きたい。自分もそうになったら相談したいと思う。

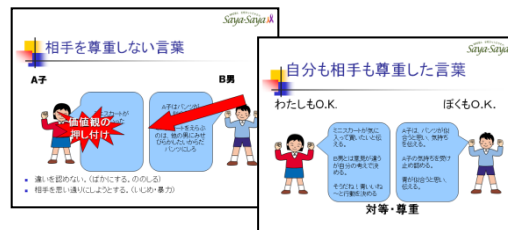
② ケータイやスマホなどへの依存

ケータイ・スマホの便利な点・危険な点（いじめ、犯罪）を知り、どう安全に使うかを、ワークなどを通じて考えるプログラムです。また、薬物依存、自傷癖、恋愛依存などについての基本を学び、自分を大切にする方法を考えます。



③ 言葉の持つ影響

「言葉の持つちから」をテーマにした、暴力的でない対等な関係性を作るためのプログラムです。言葉の中には「人を勇気づける力」もあれば、「人を傷つける力」も持っていることを、具体例を用いて説明します。自分も相手も尊重するコミュニケーション手段である「アサーション」を、ロールプレイを通じて実際に体験してみます。



出張講座のご案内

クラス単位・学年単位・全学年など、各学校の要望に対応いたします。講座時間は40分から2時間まで、相談に応じて行います。講座費用は、応相談。

これまでの講座実施例

- ◇ 公立私立全日制・定時制高校
- ◇ 大学ゼミ
- ◇ 行政職員
- ◇ 教職員（養護教員含む）
- ◇ 消費者団体
- ◇ 男女共同参画センター・生涯学習センター主催の住民向け
- ◇ 児童養護施設・母子生活支援センター

講座受講者数：約7,000名（2012年12月現在）

